

理解しています。しか ない初めての組織代表 に戸惑いがあることも 師でないからこそ、 前回選挙で「歯科医

これば地域医療

発行 山田宏よい国後援会



無床医療機関の支援



これまでも。こ

新年おめでとうございます。

これまでの新生の働きが産みの辛(つら)さも伴 でもありました。今年は「辛丑(かのと・うし)」。 たが、様々な意味で新しい種「子」が蒔かれた年 何か新しいことに挑戦していきたいものです。 いながら表面に出てくる年なので、小さくても 右手を伸ばした状態を表す象形文字。今年は 「辛」は刺青の針で、「丑」は母体から出た赤子が 「庚子(かのえ・ね)」の昨年は大変な1年でし

組織代表として決意を新たに

昨年10月、私は日歯連盟評議員会で次期参

議院選挙の組織代表として決定をいただきま した。これまでの私の

の責任をしっかり果た 後は組織代表として だき光栄と感謝申し 政治活動を評価いた していきます。 上げますとともに、今

一方、歯科医師では

ます。 年間で、「骨太方針」への歯科4年連続記載や歯 すことで皆さんの戸惑いを吹き飛ばしていき までの組織代表が成し得なかったいくつかの 課題であった40円ルールの廃止など、私はこれ 科口腔関連予算の3倍増、昭和40年代からの 破口を拓くことができる」と訴え、実際この 「結果」も出してきました。今後も「結果」を出



令和2年12月16日 田村厚労大臣に「感染拡大防止支援事業」の補助対象を 医科並みに拡大するよう要望

りました。

対象に、25万円限度で追加補助されることにな 月15日から今年3月31日までにかかる費用を

防止等支援補助金」と同様の補助金が、昨年12 実施されてきた100万円限度の「感染拡大 2年度第3次補正予算で、第2次補正予算で 支援策を強く要望いたしました。そして令和 強会」は、11月9日に加藤勝信官房長官に対し 歯科などの無床診療所存続のためのさらなる 崩壊を招きかねない状況です。 そこで私が座長を務める「歯科口腔医療勉

成立後に厚労省HPで発表されます。 していただくことになります。詳細は補正予算 間が短いので、都道府県ではなく国に直接申請 以外のあらゆる費用」が対象ですが、今回は期 保険料、医療機器等のリース料など、「人件費 にかかる費用だけでなく、家賃、光熱費、各種 補助対象はこれまでと同様、直接感染予防

組みます。 必要な支援を引き続き迅速に行えるよう取り 康維持に必須の歯科診療をしっかり守るため、 今後もコロナ感染症のリスクの中、国民の健

加藤官房長官に要望書を手渡す歯科口腔 医療勉強会の議員ら



渡した。

支援に関する要望書」を手 けている無床医療機関への ウイルス感染症の影響を受

く経営危機により閉鎖を余

そして、内部留保金がな

儀なくされ、地域医療現場

の崩壊を招きかねない状況

予算での対応に感謝の意を

と訴えた上で、次の要望を

している。

要望書では、第2次補正

る点を強調。

で再び感染拡大が起きてい **ぶした上で、東京近郊など**

寿まで健康で

最も重要な社会インフラと

症重症化予防、また予測さ

▼国民の健康維持・感染

国民の健康を守るために

八事な年です。 一子会に向け

松の夢 年は来年の診 Dれる国·日本

援を強く要望いたします 床医療機関存続のための支 地域医療崩壊から国民を守 ある医療機関の消滅による え、重要な社会インフラで れるさらなる感染拡大に備 るため、最も身近である無

げて取り組んでいきます。に対して正当な評価がなされるよう総力をあ 酬改 し初再診料の医科歯科格差の是正など、歯科 定対策チーム」を設置し、日歯連盟と連携 で「歯科口腔医療勉強会」の中に「診療報

げて全ての分野で挑戦しなければなりませんのモデル」となることです。そのためには国を挙 ありません。私の夢は日本を「天寿まで国民が 健康でいられる国」にして、日本が新しい「世界 る」わけですから、歯科こそが新しい時代の中 天寿ギリギリまで健康でいられる国民は多く わが国は世界一の長寿国になったとは言え す。 .ならなければならないというのが私の信 口腔の健康が全身の健康につながってい

強会(岸信夫顧問、山田宏

自民党の歯科口腔医療勉

なる医療機関は、保険点数

歯科勉強会

民

党

0

座長)は9日、加藤勝信内

閣官房長官に「新型コロナ

なっていないと指摘してい おり、利益を生む構造に による収入の中で経営して

る。

山田宏(やまだひろし)プロフィール(2021.1現在)

参議院議員(自由民主党)

自民党 広報本部 本部長代理 自民党 国防部会 部会長代理

前防衛大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官

予算委員会

外交防衛委員会

沖縄及び北方領土に関する特別委員会(筆頭理事)

昭和33年(1958年)1月8日生まれ(62歳) 京都大学法学部卒業。松下政経塾第2期生。 東京都議会議員(2期)・衆議院議員(2期)・ 杉並区長(3期)

「骨太方針」2017・2018・2019、そして2020で も更に踏み込んだ内容で、歯科の重要性が記述 されました!

次は「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指 し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透する よう働いてまいります。

ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援 いただけますようお願い申し上げます。



山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、 ツイッター、YouTubeでご紹介しています

山田宏公式サイト:www.yamadahiroshi.com 山田宏公式Facebookページ:

https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/ 山田宏公式ツイッター:@yamazogaikuzo 山田宏 YouTubeチャンネル:

https://www.youtube.com/user/YamadaHiroshiCom





THE PARTY 网络线照用



YouTube



チャンネル登録お願いします!!▲

10月31日(土)より配信を始めましたYouTubeチャ ンネル、もうご覧いただいておりますでしょうか?

山田宏の数多い引き出しの中から、国民の方々に 知っていただきたいことを発信していきます。各回10 分程度の動画です。どうぞ、周りのお知り合いの方々に 山田宏の考えをお広めください!

お問い合わせはこちらにお願いいたします。

山田宏 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1205号室 Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205

歯科口腔保健・歯科保健医療の充実・強化関連予算の推移 平成25(2013)年度~令和3(2021)年度



に応じ モデ でほ また歯 検導 施 討 0 ぼ た使い 終は、 を全 や障 全 わ 玉 科 3 健診や歯 告者施設(り、年 標準化 国に 体 勝手のよう や事 拡大して 目 後の に は今 向 科 状 標 年 け い準 度 7

だけ 行っ 和は いくことになります。 いる状況が 3 1 和 り多くのデータを収る状況を踏まえ、 公国民に記念会身の健 た す。 5 画 4 弋 3 0 年 0) の策定につ 箇 国 度 全 健 調 所でし あ に に認知されてき 查 な 健最 は 成 り 康終 4 7 5 元 28 年 度 ま 增評収 査 、できる な 施 す。 進 価 集 性口箇 を

特徴として

コロナ・ワクチンの優先接種 今回は歯科関連従事者も

2009年の新型インフルエンザのワクチン接種事業の際に、優先接種対象の 医療従事者の中に歯科が含まれなかったこともあり、今回のコロナ・ワクチン の優先接種に当たっては、歯科関連従事者を含んでほしいとの多くの要望を 昨年5月頃からいただいてきました。

そこで山田宏はその旨を再三再四、西村コロナ担当大臣に要望し大臣から も前向きな返事をいただいてきましたが、昨年12月の政府の新型コロナウイ ルス感染症対策本部でワクチン接種優先対象である医療従事者の中に歯科 関連従事者も含まれることが正式に決定されました。



新聞QUINT

2020年12月10日(木) 第300号



The Face

次期参院選の歯科界 組織代表候補者

田田 参議院議員



政治のプロとして歯科の諸問題 を解決し、必ず結果を出したい

日本倫科医師連盟 (以下、日倫連盟) の臨時評議員会において、次期参議院 議員比例代表選挙の組織代表候補者と に決定した。歯科医療政策を具現化す 日歯連盟だが、歯科医師以外の組織代 に減少させることができました。 表は今回初となる。本欄では、歯科医 師ではない山田氏が歯科の重要性を発 信し続ける、その想いをうかがった。 山田:私が歯科に関心をもつように なった大きな理由は、1999年から3 ながるという経験をしたからです。

当時、杉並区歯科医師会長だった 高種英要先生(現日歯連盟会長)から いただいた資料の中に、香川県や特 定の健康保険組合の調査データがあ 報告されていました。私は定期的な歯 科健診が高齢者の疾病予防や介護予防

など医療費削減に寄与するのではない かと思い、成人歯科健診事業に力を入 れたのです。対策として歯のクリーニ ング券と歯科健診をセットにしたとこ ろ、当時 6% だった受診率を 15% ま で上昇させることができました。また、 して山田 宏氏 (参議院議員) が正式 区内の一部の小学校に歯磨き奨励用の 洗面台を設置して、地域の学校歯科医 るために「歯科医師を国会議員に」を と連携しながら歯磨き励行を行ったと 針にも記載されている「生涯を通じ 中心に掲げて政治活動を展開してきた ころ、インフルエンザの罹患率を大幅 た歯科健診の充実」を推進するため

私は健康のまま天寿を全うするよう な国づくりを目指す目標のなかで、ロ の中から健康づくりを考え、健康政策 の柱として歯科の重要性を発信して いたところ、2016年の参議院選挙で 期務めた杉並区長時代に取り組んだ財 日歯連盟に支援していただきました。 政再建で口腔の健康が全身の健康につ 27歳から政治の世界に入り、首長や 国会議員を経験してきて政策実現のブ ロセスや方法は熟知しています。私は 歯科医師ではありませんが、「政治の プロとして歯科界の諸問題の突破口を 拓き、結果を出す」と主張し、自民党 り、年1回歯科健診をしている高齢 内に「歯科口腔医療勉強会」をつくり、 者とそうでない高齢者の医療費は10 歯科の重要性を理解していただける国 ~ 15万円ほど差があるということが 会議員を増やす取り組みを続けてきま した。その結果の1つとして、いわ ゆる「骨太の方針」に2017年から

4年連続で歯科の項目が明記され、 予算化にもつながっていることは周 知のとおりです。

予防医療の重要性が叫ばれて久し いなか、歯科は "疾病医" でなく "健 康医"として日本の健康政策の中心 でその役割を担うことができると確 信しています。引き続き、骨太の方 に「国民皆歯科健診」の法制化に取 り組み、また診療報酬上の再評価や 医科歯科連携を推進するためのシス テム化など、歯科医療政策の実現の ために日歯連盟としっかり連携しな がら課題解決に取り組んでいきたい

今回、私のこれまで取り組んでき た経験と実績が評議員に評価された と理解しています。政治のプロとし て歯科の諸問題を解決し、必ず国政 の場で結果を出したいと思います。

やまだ・ひろし

1958年1月8日、東京都生まれ。 自由民主党参議院議員。歯科口腔 医療勉強会座長。元衆議院議員 (2 期)。前杉並区長 (3 期)。京都大学 法学部卒業。松下政経塾第2期生。